

## 「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」の解説

### 1 梅雨明けの発表

沖縄地方は、6月25日ごろに梅雨明けしたと見られることから、沖縄気象台は本日11時00分に「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」を発表しました。

### 2 今年の「梅雨明け」は6月25日ごろ(階級:「遅い」)

平年より4日遅い、昨年より5日遅い

(1) 平年は6月21日ごろ

(2) 昨年(令和4年)は6月20日ごろ

(3) 1951年(昭和26年)からの統計

ア 最も早い梅雨明けは2015年(平成27年)の6月8日ごろ

イ 最も遅い梅雨明けは2019年(令和元年)の7月10日ごろ

#### 【参考】

梅雨明けの時期の階級(沖縄地方)

かなり早い	早い	平年並	遅い	かなり遅い
～6月10日ごろ	6月11日ごろ～ 6月20日ごろ	6月21日ごろ～ 6月23日ごろ <u>平年:6月21日ごろ</u>	6月24日ごろ～ 6月29日ごろ	6月30日ごろ～

注1. 梅雨は季節現象であり、その入り明けには、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

注2. 「平年」は、2020年(令和2年)までの過去30年の平均の日付です。

### 3 今年の梅雨期間(5月18日～6月24日)の降水量・日照時間(速報値)、平年値及び平年比

地点名	降水量(単位:ミリ)			日照時間(単位:時間)		
	観測値	平年値	平年比(%)	観測値	平年値	平年比(%)
那 覇	468.0	380.0	123	153.0	178.8	86
名 護	421.5	367.2	115	142.1	172.2	83
久 米 島	285.5	419.3	68	153.2	176.0	87
南大東島	149.5	327.6	46	217.7	232.6	94
宮 古 島	157.5	288.7	55	199.2	210.6	95
石 垣 島	175.5	292.3	60	224.7	232.2	97
西 表 島	130.0	250.9	52	195.2	226.9	86
与那国島	130.0	246.9	53	185.4	200.3	93

### 4 今年の梅雨の特徴

沖縄地方は、5月18日ごろ(平年より8日遅い)に梅雨入りしたと見られ、6月25日ごろ(平年より4日遅い)に梅雨明けしたと見られます。5月18日から6月24日までの期間降水量は、那覇、名護で平年を上回りましたが、他の観測点では平年を下回りました(項目3の表を参照)。また、沖縄地方の全ての観測点で日照時間が平年を下回りました(項目3の表を参照)。5月18日ごろに梅雨入りした沖縄地方は、6月上旬ごろに2個の台風(第2号、第3号)が接近しましたが、梅雨入り後から沖縄近海に梅雨前線が停滞しにくい状況となり、晴れの日が多くなりました。6月12日ごろからは沖縄近海に梅雨前線が停滞する日が続き、曇りや雨の日が多くなりました。

月別にみると、5月の沖縄地方は、梅雨前線や湿った空気の影響を受けにくかったことから、降水量は地域平均平年比\*で36%と少なくなりました。特に与那国島の月降水量は平年比18%とかなり少なく、5月の月降水量の少ない方からの2位となりました。日照時間の地域平均平年比は90%で平年並でした。

6月の沖縄地方は、12日ごろから梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、13日から15日は沖縄本島地方を中心に大雨となりました。13日の日降水量は粟国で213.5ミリ、奥で171.5ミリ、14日の日降水量は那覇で144.5ミリ、安次嶺(那覇空港)で141.0ミリを観測しました。また、宮城島では14日に日最大1時間降水量の6月として1位タイとなる45.0ミリを観測しました。

注) 梅雨の時期に関する気象情報は、現在(本日)までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表したものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日に変更となる場合があります。

※ 沖縄地方における地域平均平年比とは、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の7地点の平年比の平均値で示しています。